

平成24年度 第1回 学校運営協議会議事録

平成24年5月 8日(火) 19:00~20:30

於：秋津小学校 2階 会議室

司会：首藤，小関 記録：川井

<参加者>

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| ◇桐生庸介(秋津小 PTA 会長) | ◇斎藤 いくみ(秋津小 PTA 副会長) |
| ◇鮎川由美(秋津まちづくり副議長、地域住民) | ◇山下 晃(学校体育施設利用団体代表、地域住民) |
| ◇原田靖久(社会福祉協議会秋津支部長、地域住民) | ◇福山宗起(秋津小学校長、学校職員) |
| ◇首藤啓介(秋津小教頭、学校職員) | ◇小関秀夫(学校支援ボランティア代表、校長推薦) |
| ◇麻生美智子(人権擁護委員・学校支援ボランティア代表、校長推薦)(欠) | ◇村田 均(教育委員会指導課 課長、行政機関職員) |
| ◇橋村清隆(秋津コミュニティ代表、校長推薦) | ◇新井嘉晴(教習会青少年センター所長、行政機関職員) |
| ◇町田利章(秋津小教務主任、学校職員) | ◇川井由紀(秋津小研究主任、学校職員) |
- ◆植草満壽男(教育委員会学校教育部参事) ◆平山宣尚(教育委員会指導課)

I 習志野市教育委員会から

- 1 指定書辞令交付
- 2 教育教育部参事より
地域、家庭、学校が絆を深め、ますます秋津小ならではの教育の推進を図っていただきたい。

II 自己紹介

校長挨拶

魅力と活力ある学校づくりをしていきたい。
みなさんの協力を得て、学校運営をしていきたい。

III 第1回学校運営協議会会議

- 1 役員選出
委員長 小関 秀夫さん 副委員長 桐生 庸介さん
- 2 報告事項
(1) 昨年度の活動について
別冊資料にもとづいて、首藤(教頭)が提案。

- 原田 学校のニーズがよくわからない。
学校の方から協力してほしい課題を出してもらえると、ふさわしい人材を探したり、助け合ったりすることがもっとできると思う。
- 小関 地域の方からの発信が多かった。
先生方から地域の方に願いがあるなら具体的に伝えてほしい。
地域には人材が豊富なので。
- 鮎川 今年学識経験者は参加しないのだろうか。
- 福山 天笠先生(千葉大教授)から委員ではなく、アドバイザーという立場で参加させてほしい、という申し出があった。
- 鮎川 後任の方は？
- 山下 天笠先生にアドバイザーとして来ていただければ、いいのではないかな。
- 橋村 アドバイザーであっても私たちが作った資料などを見ていただければ、ご助言はもらえるのではないかな。
- 校長 皆さんに承認していただいて、規則にはないけれど、アドバイザーという立場での参加を認めていただきたい。

村田 規則通り15名以内であるので、このまま規則の改正なしでやっていけばいいのではないか。昨年度までの実績もあるので。

小関 確かに天笠先生は多忙なのだと思う。

鮎川 天笠先生には、違う側面からアドバイスいただけるのでよかった。

原田 今まで、天笠先生のアドバイスでよりよい方向に変わってきていたので。

橋村 今年残念だけれども、みんなでやっていって困ったときにアドバイスいただければと思う。

鮎川 違う目線からアドバイスいただければと思う。

校長 出席していただけても、アドバイスしていただくことはできると思う。

小関 今まで通り天笠先生には指導・助言をいただく。出席していただけるかどうかは、校長先生と教育委員会にお任せするということではどうだろうか。

3 協議事項

(1) 平成24年度学校経営の基本方針について

別冊資料にもとづいて、福山（校長）が提案。

1 学校経営の基本

2 学校教育目標について

3 基本方針

(1) 「地域の風がいきかう学校づくり」の一層の推進

(2) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る「わかる授業」の推進

(3) 心豊かな児童を育む教育の充実

(4) 体育及び健康教育の総合的な推進

(5) 安全教育の充実と防災教育の推進

(6) 学級経営力の向上によるいじめ0・不登校0を目指した教育の推進

(7) 安全でうるおいのある環境整備の推進

(8) 教職員の資質や指導力の向上を図る研究・研修の充実

4 学校経営の重点

(2) 秋津小パワーアップスキル

「読む・書く・聞く・話す」低・中・高学年でそれぞれ培っていく力を示し、全校で取り組んでいく。

(3) 「オアシス運動」挨拶を大切にしていく。

金管バンド→吹奏楽部

(4) 体育研究の推進。

秋津っ子マラソン。

サッカー、ミニバスケット部の年間を通しての活動。

(5) 安全教育の充実・防災教育の推進

津波を想定しての避難訓練の実施。

(6) 昨年も不登校は0であったが、今年も取り組んでいく。

評価についての項目を明確にしていこうと思う。

原田 声の小さい子は生きる力が弱いと思う。声を出させると子どもは変化していく。大きな声が出せるようにしてほしい。

校長 物・人・学習への興味が薄い子は声が小さい。個々の子どもの実態に合わせて指導している最中である。

原田 声が大きいいじめられないということもあると思う。

校長 パワーアップスキルの「話す」に即してこれからも指導していく。

桐生 自分から挨拶できる子になってほしい。

鮎川 「パワーアップスキル・オアシス」は具体的でよいと思う。「指のサイン」とは？

校長 昨年度から取り組んでいるもの。付け足し・反対などの意思表示を指の形で行う。

鮎川 「千葉県一周マラソン」とは？

校長 昨年度から行っている。今年度からクラスの一覧表も作っている。津波避難の時、向山小まで逃げられる体力がないといけない。

鮎川 目に見えるようにグラフ化するのもよい。いざという時力が出せるように。
 新井 中学生も男子が弱いように最近感じていた。七中では運動が得意でない子の活躍の場として百人一首大会も行ってた。

鮎川 秋津小も勉強の方も何か作るとよいかも。
 小関 各学年に相応の語彙数を増やしてほしい。
 原田 会社の昇級では、レポートを書かせる。それを見ると漢字が書けないことが多い。漢字の力が付くようになってほしい。漢字は人を表すし必ず役に立つので。

町田 朝のパワーアップタイムを年間指導計画を立てて、漢字・計算の基礎的な力をつけるように考えている。

橋村 コミュニティースクールでも、算数教室をやっているが、学校でもお願いしたい。
 教頭 新指導要領になり算数の内容が増えた。

原田 小学校の教育は大切なので、お願いします。
 桐生 親として、家でできること、宿題を親が見るような物も出してもらえるといい。
 教頭 学習したことの生活化、活用力が落ちていると言われてきている。自分の部屋でなく、リビングで学習すると伸びるといわれている。

原田 一週間、一ヶ月の子どもの変化を見ていただき、先生方にも評価をしていただければ、と思う。

斎藤 子どもと接しているのは保護者。懇談会の時に、親同士の情報交換ができる場がほしい。お互いの悩みを相談できればいいと思う。

この後、学校経営基本方針は、承認された。

(2) 今後の活動方針について

別冊資料にもとづいて、首藤（教頭）が提案。

小関 指導案レベルでなくてもよいが、授業参観のときの授業のめあてなど事前に知らせてほしい。

桐生 昨年度は、何を学習するかは出してもらった。
 橋村 それぞれの先生たちにこんな風にやっていく、ということを知るといいのだが。
 原田 全部をやっていくのは無理でも、特にこれをやっていこうと思っていることを聞けるといい。

山下 校長先生から出ているので、その内容を踏まえて、各先生方はやっているのだと思う。
 小関 その学級によって特に、ということがあるはず、聞いてみたい。
 新井 鉛筆の持ち方、マンガ字など学校と家庭で小さい頃からやっていただけたらいい。
 校長 書き順なども。家庭でも学習しやすい環境を整えていただけたらと思う。
 鮎川 習っていない漢字は、書かせないのか。
 川井 学年の実態もあるが、板書に使ったり、書ける子には書かせている。
 小関 書き方の学習も大切だと思う。
 橋村 コミュニティーでも書き方教室を開いている。

4 その他

(1) 次回開催日

11月17日（土）土曜参観日以降で調整する。

平成24年度 第2回 学校運営協議会議事録

平成24年12月 3日(月) 19:00~20:30

於：秋津小学校 2階 会議室

司会：首藤、小関 記録：川井

<参加者>

- ◇桐生庸介(秋津小 PTA 会長)
- ◇鮎川由美(秋津まちづくり副議長、地域住民)
- ◇原田靖久(社会福祉協議会秋津支部長、地域住民)
- ◇首藤啓介(秋津小教頭、学校職員)
- ◇麻生美智子(人権擁護委員・学校支援ボランティア代表、校長推薦)
- ◇橋村清隆(秋津コミュニティ代表、校長推薦)
- ◇町田利章(秋津小教務主任、学校職員)
- ◇斎藤 いづみ(秋津小 PTA 副会長)
- ◇山下 晃(学校体育施設利用団体代表、地域住民)
- ◇福山宗起(秋津小学校長、学校職員)
- ◇小関秀夫(学校支援ボランティア代表、校長推薦)
- ◇村田 均(教育委員会指導課課長、行政機関職員)
- ◇新井嘉晴(教育委員会青少年センター所長、行政機関職員)
- ◇川井由紀(秋津小研究主任、学校職員)

1 会長挨拶

「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰についての報告
秋津地域は、様々な方々の協力を得ている特色が改めてわかった。

2 学校長挨拶

文部科学大臣賞表彰の報告。みなさんの協力に感謝すると共に、これからもお願いしたい。
本日2回目の運営協議会で本校の成果と課題について話題にしたい。

3 報告

- (1) 平成24年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰について
(小関)
- (2) 第1回議事録について(首藤)
天笠先生(千葉大学 教授)の委員の辞退に対し、来年に向けて新たにご指導を頂ける方を探すなどの方向を考えていく。(村田)
- (3) これまでのパートナー会議及び教育活動について(首藤)
過去7回の報告。これからも学校と地域の連携をしながら協力していきたい。

小関 : 昨日は立派な「海辺のコンサート」を開くことができた。

鮎川 : たくさんの方にご協力頂き、準備・片付けもとても早く進んだ。音楽もすばらしかった。

原田 : 「海辺のコンサート」のような行事は他の地域でも行っているのだろうか。

村田 : 各公民館ごとに音楽会が開かれるようになってきている。

原田 : 行政からお金は出してもらえないのはわかっている。入り口に募金箱を置くなどのことをしてもよかったかもしれません。

橋村 : 秋津はたくさんの方が手伝いに来てくれていた。公民館が主催としてやるはずだったのだと思うのだが。

鮎川 : 前にカンパのお願いをすればよかった。家に行ってから持ってきてくれた方がいた。

橋村 : 実行委員など考える必要がある。

原田 : 小学生らしい元気な歌が聞きたい。

山下 : 選曲によるところがある。

原田 : 地域の発表会なので、もう少しポピュラーなものを選んで頂けると観客も楽しめるのではないかとサンバなどは楽しめた。

鮎川 : 他の学校を聞くというよい機会になった。

橋村 : 大人のアンサンブルは津田沼高校のOBというのもいい。

- 小関 : 小中高のそれぞれの演奏が聴けたことはよかった。生涯学習部が主催で行うと、高校やOBも出演できて幅が広がってよいと思う。
- 村田 : 生涯学習として、高校やOBも出演しているのは良いことだと思う。
- 小関 : 発表側としては、練習してきたものを発表したいのだと思う。
- 斎藤 : AKBや嵐などの方が子どもが取っつきやすいのだろうか。

(4) 1学期日曜参加、2学期土曜参観保護者アンケート集計結果(町田)

- 山下 : 扱う内容が同じでも教え方によって、違いが出ると思う。
- 小関 : 授業は生き物である。人を育てることは難しい。
- 原田 : 先生の仕事は変化を起こすことができる。成長は変化させることである。

(5) 体育科研究について(首藤)

公開研究会批評審の抜粋、体育学習に関する児童アンケート、体力テスト結果より

4 協議事項

(1) 今後の活動「学校評価の実施と改善」について(町田)

- 小関 : 授業を見に行きたい。
- 橋村 : 今、学校に関わっていない方にももっと関わってもらえたらよいと思う。
- 鮎川 : 学習支援という募集の仕方より、具体的な内容で募集するとよいと思う。
- 原田 : 学校と接点を持っているというのは、とてもいい。
- 桐生 : 不登校〇というお話だが、不登校の詳しい定義をお聞きしたい。
- 村田 : 学校に来ていれば登校になり、少しずつ積み重なって30日を越えてしまうと不登校ということになってしまう。

5 その他

第3回学校運営協議会の開催日 2月25日(月)

- 新井 : 秋津の子ども達は顔つきがゆったりしていて先生、教師を信頼していることがわかる。学校便りから地域・学校・子どもの全てが、がんばっていることがわかる。
- 小関 : 校長先生の学校便りは読み応えがある。

平成24年度 第3回 学校運営協議会議事録

平成25年2月25日(木) 19:00~20:30

於：秋津小学校 2階 会議室

司会：首藤、小関 記録：川井

<参加者>

◇桐生庸介(秋津小 PTA 会長)

◇鮎川由美(秋津まちづくり副議長、地域住民)

◇福山宗起(秋津小学校長、学校職員)

◇首藤啓介(秋津小教頭、学校職員)

◇麻生美智子(人権擁護委員・学校支援ボランティア代表校長推薦)(欠)

◇福村清隆(秋津コミュニティ代表、校長推薦)

◇町田利章(秋津小教務主任、学校職員)

<欠席者>

◇原田靖矢(社会福祉協議会秋津支部長、地域住民)

◇斎藤 いつみ(秋津小 PTA 副会長)

◇山下 晃(学校体育施設利用団体代表、地域住民)

◇小関秀夫(学校支援ボランティア代表、校長推薦)

◇村田 均(教育委員会指導課課長、行政機関職員)

◇新井嘉晴(教育委員会青少年センター所長、行政機関職員)

◇川井 由紀(秋津小研究主任、学校職員)

1 会長挨拶

文科省のコミュニテースクールの強化セミナーに参加した。

地域に住んでいるだけの方も多い中で、地域の社会化を図るためには学校運営協議会を中心に活動していくことが大切だと思った。

2 学校長挨拶

日頃からご支援ありがとうございます。本日の話し合いを次年度に活かしていきたい。

3 報告

(1) 平成24年度 第2回議事録について(首藤)

(2) これまでのパートナー会議の内容について(首藤)

(3) 平成24年度学校参観者報告(首藤)

4 協議事項

(1) 平成24年度「学校経営の成果と課題」について(校長)

保護者、地域の皆様のご協力があり、学校運営をすることができた。今年度の成果と課題を協議していただき、来年度に活かしていきたい。

村田 委員会指導課として、多くの学校を参観した。秋津小は2月に参観したが、指導内容・先生方の指導の様子・子ども遠の様子等から、1年間の成果が伝わってきた。いじめが起きないような日々の先生方の取り組みも資料からよくわかる。

新井 様々な評価をオープンに行って、目標に対しての評価をしっかりと行っている。若年層の先生方も学ぼうとしている様子がよくわかる。これからも地域の方々に秋津小を温かく見守っていただければと思う。

小関 授業研の回数が多くて、先生方は多忙観を感じていないのだろうか。

村田 学校の実態に合わせて行っているが、先生方は学校で8割から9割I』を授業で子ども遠と接している。若い内にしっかりとした授業ができるようになることが大切。秋津小で行っている研修は意義がある。

小関 「いじめ」と「ふざけ・けんか」の違いが難しい。

校長 アンケートで実態を把握するようにしているが、文章で表れてくるものだけでなく、先生方はひとりひとりと話すことで指導していている。普段の人間関係の中でいじめを見極めていけるようにしている。

福村 学校での取・り組みを保護者が知り、家庭でも取り組もうという意識を持っていくとよい。
 鮎川 いじめについては数字で出てくることのないものもある。
 村田 TVで報道されると、どんなことでも書いていいというように投げかけ、アンケートを書いてもらうので、件数は増える。その中で継続的に不快な思いをしていないかを見ていくことが大切。

山下 個々の事例をよく見ていく必要がある。大きな問題に発展しなければ〇ということになる。

麻生 「ふざけ」と「いじめ」を見極めるのは難しい。人権教育にも関わったが、幼稚園でのいじめは幼稚園でおさめ。小学校でのいじめは、小学校でおさめてほしいとよく聞く。

福村 親がどれだけ子どもをよく見ているかが大切。
 麻生 学校の方針を家庭でもわかって、家庭でも教えていくことが大切。

鮎川 家庭内の虐待について、先生方はどのように対処しているのか。
 校長 着替えなどの際に、アザがないかなどの見方もしている。きめ細かく見ることが教師にも求められている。

麻生 民政委員をしていると、地域から通報されてくる。
 村田 教育委員会、子育て支援、保健関係が集まり、情報交換をする場がある。ネットワークを広げるようにしている。教員は発見しやすい立場である。

山下 情報を得るための手段として、家庭訪問はないのか。
 校長 最近では教員が行くのをいやがる家庭が多くなっている。現在は地域訪問になっている。指導要領が改訂され、授業時数も増えた関係もある。

桐生 保護者面談も希望制になっている。
 村田 学校によって違いはある。
 山下 教育委員会として、こうしてくださいというガイドラインはないのか。
 村田 地域や学校の実態で校長先生におまかせしている。
 麻生 家庭訪問は家庭のことがよくわかる機会だと思うので、あった方が良いかもしれない。
 桐生 先生は、毎日子どもと学校で接している中でわかるのではないか。
 山下 虐待などの情報を得る手段としては、家庭訪問もいいのかもしれない。
 新井 担任一人でなく、保健の先生、同学年の異性の先生などと協力しながら一人ひとりの子どもを見ている。

桐生 給食を残す子どもが多いと聞くと聞くと、秋津小ではどうですか。
 校長 給食室から配布するとき、量はある程度調節している。
 川井 強制ではないが食べることを進めている。
 鮎川 アレルギーの対応も大変そう。
 斉藤 保護者もアレルギーが出た時の対応を学校に書いてお願いしている
 教頭 命に関わるので、しっかりやっている。

小関 いろいろな意見も出ましたが、次年度に対して参考にさせていただければ、と思います。
 村田 今年度は、「いじめ」から始まり、「体罰」の問題も出てきた。負の方へ動いているような気にもなるが、秋津小は先にも言ったように良い方向に向かっていると思う。来年度も地域の方々に協力していただき、学校の運営が進むように考えていきたい。

小関 懸案事項であった、学識経験者の学運協への参加はどうでしょうか。
 村田 人選と協力していただける時間帯もあり、なかなか難しい。継続して探していきたい。

5 その他

平成25年度 第1回学校運営協議会の開催日

5月2日(木)